

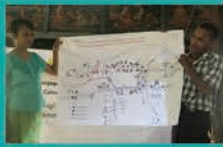
災害対応能力強化トレーニング

トレーニング 1
大切にしたい理念の話し合い
防災の基本概念紹介



トレーニング 7 (B)
基礎消火・防火

トレーニング 2
まちあるきと防災マップづくり



トレーニング 7 (C)
搜索・救助研修

トレーニング 3
災害が発生する仕組み
降雨の影響



トレーニング 8
避難所運営机上訓練

トレーニング 4
水と衛生



トレーニング 9
人道憲章と人道対応に関する最低基準
(スフィア)と人道支援の必須基準(CHS)

トレーニング 5
応急処置法



トレーニング 10
全家屋訪問調査による世帯カードの作成

トレーニング 6
村の防災計画と各委員会の役割分担



トレーニング 11
避難所宿泊体験と避難持ち出し袋作成

トレーニング 7 (A)
堤防管理と被害軽減策の歴史



トレーニング 12
日本の輪中地域との比較研修

－ 村防災委員会 －

村防災委員会 会長(村長)

情報収集・早期警報 (6名)
避難誘導・搜索・救助 (8名)
応急処置 (7名)
避難所準備・運営 (5名)
物資管理・復旧支援 (7名)
研修・調整 (8名)

連絡先

SEEDS Asia (本部・神戸)
神戸市東灘区岡本3-11-30-302

ミャンマー事務所
2nd Floor, Federation of Myanmar Engineering Societies, Hlaing Campus,
Hlaing Township, Yangon Region, Myanmar.

Tel: +81-78-7669412

Tel: +95-9-447904969



安全な学校施設

学校施設を利用する全ての人の安全と保護に配慮し、
災害時の教育機会の継続を目指します



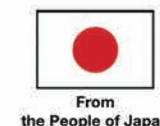
学校防災管理

学校だけでなく地域住民の参加を通じ、地域の
防災活動の拠点・避難所としての連携を促進します



リスク削減・防災教育

子ども、教員、保護者や地域住民と共に災害に負けない
まちづくり・学校づくりをめざした教育を実施します



ナベーゴン村小学校兼シェルター

高床式で村の避難所に

- 洪水に備えて床高は3m
一般の小学校の6倍の高さ！



広い避難スペース

- 屋上や多目的ホールの避難所としての活用が可能



みんなが使えるデザイン

- 日本とミャンマーからの市民寄付によるスロープ建設で階段を登ることが難しい方々もスムーズに避難



防災倉庫・多目的ホール

- 倉庫機能を兼ね備えた多目的ホールは、避難所だけでなく平時の防災拠点としても活用



広い中央階段兼舟着き場

- 雨期には小舟で通う洪水常襲地ならではの工夫



包括的学校防災のモデル校



避難所の確保と教育継続のために



事業実施前

水位レベル



1979年に住民の寄付により創設され、1995年に再建された旧校舎

採光・通気性のよい教室

- 窓とドアを多めに取り付け、採光と湿気に配慮



安全な学校家具

- 兵庫県丹波市が日本の安全基準を満たした学校家具を寄贈



環境への配慮

- 雨水の再利用、浄化槽の設置、太陽光パネルを装備



応急処置ができる保健室

- クリニックの無い村でも応急処置ができるよう基本的な器材の配備と研修を実施



安全な水の確保

- 井戸の掘削による安全な飲料水の確保 (RO処理)

